



つなぐ

Vol. **123**

2016
Winter

平成28年1月1日

発行人 長野県民生委員児童委員
協議会連合会
会 長 伊藤 篤志

編集人 編集委員会
委員長 熊井 文弘

〒380-0928 長野市若里7丁目1番7号
(長野県社会福祉協議会内)

— 特 集 —

会長&新人 座談会
課題とやりがい、
そして任期を考える

Contents

- ◆新年のごあいさつ
長野県知事 阿部守一氏
長野県民生委員児童委員協議会連合会会長 伊藤篤志 …… 2
- ◆特集 会長&新人 座談会
「課題とやりがい、そして任期を考える」 …… 3~5
- ◆民児協訪問
松川村民生児童委員協議会 …… 6
茅野市ちの地区民生児童委員協議会 …… 7
- ◆表彰者紹介 …… 8

新年のごあいさつ



長野県知事
阿部 守一

明けましておめでとうございます。謹んで新春のお慶びを申し上げます。

民生委員・児童委員の皆様におかれましては、地域社会の抱える生活課題が複雑・多様化する中で、日々、住民の身近な相談相手として、高齢者や障がいのある方、子どもたちへの見守りなど、地域福祉の中心的役割を担っていただいていることに対し心より感謝を申し上げます。

本県では昨年4月に「生活就労支援センター(まいさぼ)」を19市とともに県内23か所に開設し、様々な困難を抱え生活に困窮された方に対して、生活

や就労を支援する全県的な体制をスタートさせました。

民生委員・児童委員の皆様は、生活に困窮された方を「まいさぼ」につないでいただくなど、地域福祉を推進する上で、なくてはならない存在でございます。県といたしましても、皆様が活動しやすい環境づくりに、一層努めてまいります。

さて、今年は、私の二期目の任期の折り返しとなります。引き続き、長野県の現在及び未来に対する大きな責任を自覚し、初心を決して忘れることなく、県民の皆様とのしあわせと長野県の発展のために全力を尽くす決意です。

政策面では、策定から4年目を迎える本県の総合5か年計画「しあわせ信州創造プラン」に基づいて、各施策を着実に遂行し、具体的な成果を上げてまいります。

昨年10月に、長野版地方創生総合戦略として取りまとめた「長野県人口定着・確かな暮らし実現総合戦略」について、戦略に掲げた地域包括ケア体制の構築など施策の実現に向けて、多くの皆様の御理解を得ながらその力を結集し、「オール信州」で具体的な取組を進めてまいります。

私は、美しく豊かな自然環境に恵まれ、東京をはじめとする大都市圏とも近接し、「移住したい都道府県」に9年連続日本一に選ばれている長野県こそが、地方創生のフロントランナーたり得ると考えています。「信州創生」の実現に向け、引き続き、民生委員・児童委員の皆様方の御支援、御協力をお願い申し上げます。

結びに、今年一年の皆様のご健康と御多幸を心よりお祈り申し上げ、新年の御挨拶といたします。



民生協議会
委員長
長野県委員会
児童会
長
野児連
伊藤 篤志

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

昨年は、善光寺御開帳と新幹線の延伸が相まって大勢の皆様が県内を訪れ、大変な賑わいを見せました。

一方、一昨年11月の神城断層地震の際には、安否確認や支援活動などで被災地の委員の皆様に変なご苦労をおかけしました。発生以来1年余りになりますが一日も早い復興を願ってやみません。

6月には、関東ブロック民生児童委員活動研究協議会を軽井沢町で開催し、ご参加の皆様からは実りの多い大会との賛辞もいただき、成功裏に終えることができました。ご協力いただいた関係各位に改めて感謝を申し上げます。

また、昨年4月から始まった生活困窮者自立支援制度、子ども・子育て支援制度、介護保険法の改正等の動向について情報提供をさせていただきました。今年4月からは、共生社会の実現をめざす障害者差別解消法も施行されます。

民生委員・児童委員は日々の活動を通して、こうした福祉制度やサービスについてのごつなぎ役となり、地域の皆様とともに支え合いのまちづくりに取り組むこ

とが期待されています。

さて、今年は長野県民生児童委員大会が長野市で開催されますので皆様のご参加をお願いいたします。(9月1・2日、ホクト文化ホール)そして、11月には一斉改選を迎えます。「継続は力なり」と言われます。3期からさらに4期へと前向きに活動が続けていただきますようお願いいたします。来年(平成29年)は民生委員制度創設100周年に当たります。委員全員一丸となつて、この記念すべき年を迎えようではありませんか。

結びに、委員の皆様のご健勝とご多幸をお祈り申し上げ、年頭のご挨拶といたします。

特集
会長&新人 座談会



※2015年11月12日 県民児連事務局で

実践して初めて民生児童委員の仕事把握

編集長 新人委員に、苦労していることや悩みをお聞かせください。

高宮 最初の4月月は悩みました。見守りをしていながら引継ぎはしていただいたものの、具体的に何をやるのがわからなかったからです。3月に地区の高齢者が部屋で動けない状況があり、市役所に連絡するなど初めて役割を果たしました。関係機関に連絡すればいいのだというところを、実際に経験したことで、以後落ち着いて日々の活動ができるようになりました。

編集長 その実例を詳しくお話ください。

高宮 新聞の集金の方から「部屋で動けない人がいる」との連絡をいただき、飛んで行きました。一人暮らしの高齢者で、窓から姿は確認でき呼ぶと返事はしますが、起き上がることができない状態でした。部屋に入ることもできず、困り果てた末、前任者に教えていただき、夕方6時を過ぎていましたが市役所に連絡しました。まもなく包括

- 編集長 熊井 文弘さん (長野市浅川地区)
小林 幸子さん 小諸市 (南大井地区会長)
平林 八郎さん 松本市 (入山辺地区会長)
高宮 幹幸さん 諏訪市 (中央地区)
西澤 千枝子さん 長野市 (松代地区)

課題とやりがい、そして任期を考える

来年は民生委員制度創設100周年です。長野県の民児連は昭和40年設立以来半世紀が過ぎました。民生児童委員を取り巻く問題も多様になっていきます。その一つがなり手不足です。全国では6千7百人の欠員が出ています。長野県においては、欠員はほとんどないとしても、前回の改選で約5千7百人のうち、新任委員が54%を占めています。1期のみでの退任も目立ち、その理由はどんなところにあるのか。任期があと1年となったいま、現場の単位民児協会長や新任委員が日々活動する上で、課題をどう感じているのか。今回の特集では、去る11月12日県民児連事務局で、新人委員2名と単位民児協会長2名で座談会を開催し、率直に意見交換をした様子を要約して紹介します。



高宮さん ▶

目の前の高齢者や障がい者で精一杯

編集長 西澤さんはいかがですか。

西澤 担当は2つの行政区担当で165軒あります。避難行動要支援者登録は40軒、毎月見守りしている家が24軒、いずれは登録という人が8軒です。高宮さんと同じで、前の委員との引き継ぎは、ただ書類を受け取って名前を書いただけでした。

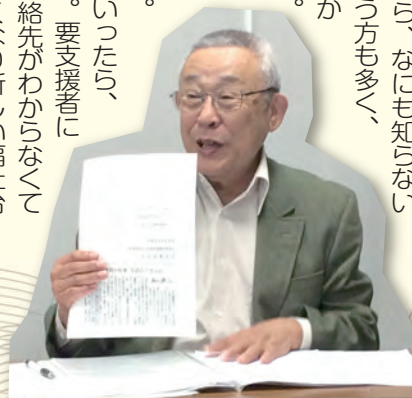
支援センターより2名来ていただき、入室できるところを探し状態を確認、救急車の手配及び親族への連絡など手配していただきました。本人が病院へ行くことを拒み、また、家族にもなかなか連絡が

とれず、10時過ぎまで掛かりましたが、最後まで対処していただき、感謝の一言でした。一番心配なのはやはり単独死です。私の担当区は、180世帯で約半分が65歳以上で、目が行き届いている心配です。

要支援者の実情も家の場所も教えてもらえず、地図と書類をみながら一軒ずつ回りました。私は松代に越して20年ぐらいいですから、なにも知らないことが多いです。初めて会う方も多く、どうやって絆を深めていくのか最初は大変な思いをしました。

編集長 事例はありますか。

西澤 任務に就いて2カ月目の1月、一人暮らしの方の交通事故がありました。近所から声がかかって飛んでいったら、警察も救急車も来ていました。要支援者に入っていないため、家族の連絡先がわからなくて困りました。前年度に夫が亡くなり新しい福祉台帳ができるまでの空白期間だったのです。親戚も誰も来ない上に土曜日で役所はやっていません。地区の役員と一緒に自宅に入り、電気類やストーブをすべて消して、玄関の鍵をかけて、病院まで行きご家族に説明をして帰ってきました。その時、近所の方に「民生委員ってどこまでやるの?」と聞かれ、判断に困りました。自分自身ならどうして欲しいか、という視点でやりました。それが委員としての洗礼をつけた最初の経験です。



▲熊井編集長

(次頁へつづく)

▼西澤さん



枝子

編集長 現在悩みはありませんか。

西澤 165軒の担当の中で、

子どものごとまで気が回らないことです。高齢者と障がい者を見守るだけで精一杯です。子どもがいる親世代には、私たちの仕事が多分のか理解してもらっていないのです。親は自分の子どもの情報を知られたくない傾向にあります。小学校の資料にも子ども名前すら載っていません。なにかあれば学校や主任児童委員から連絡くるのではというくらいに思っていて、手が回っていないのが悩みです。

気負わず自然体で気軽に やってほしい

編集長 では会長さんに、苦勞や悩みについてお聞きします。

平林 福祉だけでなく各種団体の役も充て職として与えられています。行事の運営員も担わされて、地区の会議にも出席を求められていることが多い。負担が多きくそれは本当に我々の仕事なのかと疑問を感じることもあります。

小林 地域では、民生児童委員の役割を知らない人が多いです。高齢者以外の家庭になるとほとんどわからない。逆に私たちが出席すべき場面に呼ばれないという現状があると感じています。また、私の地区は13名の民生委員と1名の主任児童委員がいます。内、11名が新任。地区会、いわゆる定例会を開催していますが、当初は新人が雰囲気馴染んでもらえるかが悩みでした。

編集長 新任委員へのサポートは？

平林 私の地区は新任の委員は9名中4名です。最初に「専門的な言葉を使うのではなく、気負わずに自然体で気楽にやってほしい。ありのままの姿で相談に応じて、場合によっては他の委員に相談して欲しい」と話しました。我々はいつも新人という心構えが必要で、地域の問題をよく見ることが大事です。また、事故の対応として「必ず警察を通してやりなさい」と指導をしています。委員活動に重荷になってしまつことは避けたいのです。

小林 小諸市では、休日でも市役所に連絡すれば関係部署に知らせてくれます。一人で当事者宅に入ったら、亡くなっていて半日も事情聴取されたという事例もあります。「緊急時、絶対に一人では入ってはいけない」と全員に周知しています。

平林 近くの駐在や警察の連絡番号だけは、常にしっかりと持っています。

定例会で互いに事例を学ぶことが大事

編集長 小林さんはどう新人を指導していますか

小林 一人で抱え込んで悩まず、地区会（定例会）で出してもらつようお願いします。会議の他にも交流を大事にします。できるだけ全員に発言してもらい、ほかの委員へと意見を促します。すると経験のある方からのアドバイスを出していただけるのです。

平林 私の地区も、定例会で、各委員からの提案などを出してもらいます。市から専門の職員が定例会に来てるので、アドバイスしてもらうようにしています。

編集長 先輩にアドバイスもらうことはありますか。

高宮 定例会では事例発表は行っていません。実は、自分のしたことがそれで良かったのか、自信のない時があります。そんな時、事例発表をしてアドバイスをしていただったり、他のみなさんの事例を参考にしたりすることもできると思います。ぜひ実施していただきたいです。

編集長 松代地区は先輩がアドバイスすると聞きました。

西澤 松代地区は委員が46人で、個別相談は別室で先輩が悩み事をつけるという形で、ほかの委員には中身はわかりません。定例会は各機関の連絡や勉強会が主で、発言する時間がないのです。個人的には、他の委員の方たちの事例が欲しいです。どう解決したのか、具体的にぜひ聞きたい。特に、最初に話したような緊急時に自分のやったことを、報告する場がないのはショックでした。報告義務なく活動記録のみで、その中身には一切触れていません。活動はボランティアの本質そのもので、自分で完結するしかない。そのことに納得し慣れるまでは、眠れないほど落ち着きませんでした。

編集長 規模の大きいところでは難しいですね。10人前後だと家族的で事例共有もできます。

やりがいは当事者の笑顔と感謝の一言

編集長 逆にやってよかった、やりがいを感じたことを聞かせてください。

高宮 一人暮らしの安否確認に、定期的に行きませんが、笑顔で迎えていたと、待っていてくれたのかなと嬉しく思います。

9月には、家の中で倒れている人が気がつき助けられて、よかったとも思っています。

編集長 笑顔で迎えられるのは新任だけでなく我々も同じですね。



▲平林さん

(松本市) 平林 八郎

委員は地域の福祉に協力しますが、連携はしますが、



▲小林さん

西澤 ほとんどの当事者が初対面でしたが、労っていたいただき笑顔で迎えてくださる。顔馴染みになってくると、その人の顔を見たときと違いがわかるので「なにかありましたか」と聞くと話してくださる。やりがいがあると思います。ただ私は、2期目は無理だと思っています。

高宮 高齢者が共同風呂で倒れたりした時、私に連絡が来るようになりました。区民が民生委員を頼りにしているので、呼ばれたことが何回もありました。頼りにされることにやりがいを感じます。地域の人に「年取ったら頼むよ」とも言われます。そんなに長くはできませんが(笑)。

1期で辞めてしまいう理由とは なにか

編集長 1期目だけで辞めてしまつたということは候補者の選出に問題があるのでは。埼玉県民児童連では、選出を民生委員や単位民児協が候補者を選んで区長に推薦を依頼するように、市町村の行政へ県が指導して欲しいと申し入れたそうです。

平林 町会長には最低でも3割の交代でと申し入れていくつもりです。地域によっては2期、また交代でやるというところもあります。ぜひ3期やってほしいと思います。委員を一度やると、辞めても心構えができるので、地域で人から頼りにされる人材となるのです。1期で辞める理由として、「ゴミを出してくれ、送迎してくれなどの要望を自ら引き受けてしまつたか、行政からも配布物や調査依頼の仕事が多いことですね。」

どこまですればいいのかはどこにも書いていないのです。西澤さんのように貴重な体験をされているのに、1期で辞めてしまつたのはもったいない。続けていけばもっと人生を豊かにするような体験が出てくるのではないのでしょうか。

西澤 確かに、例えば認知症の男性や精神障がい者の見守りをしていて、当事者が自分を信頼してくださっています。次の方にどう引き継ぐのかは悩みですね。辞めたとしても3年間の経験と知識を、なんとか地域で活かせる状況にできればいいなと思っています。辞める理由としては、家族への負担があることですね。仕事と両立できず家も離れられないですし、夫への負担もあります。

小林 一生懸命やりつづけているのでは。

西澤 これは性分なのです(笑)。先輩から御用聞きに回るなど言われました。でも、最初は誰の顔も知らないし、日頃の状況がわからないので、積極的に回って歩いています。私にとって1期だからできるのです。

平林 私は地域の方たちと、福祉広場の送迎ボランティアを立ち上げたり、災害時の住民の安否確認や広報の研究をしたり、認知症の人たちが徘徊していなくなった時のサポートシステムを考えたりしています。またグループホームを誘致も実現しました。地域の活動に身を置いてやっていくとやりがいが出てきます。旅行に行けば、民生委員の目で旅行先の地域を見ることができます。保育園や老人ホームが気になります(笑)。生活の中でそう考えられるのは面白いですよ。新任の皆さんにはぜひ続けてほしいです。

高宮 私の地域では諸先輩が2期以上務めたためか、私を含め委員自身も皆2期以上を思っています。最初に依頼があったときに、生活環境や健康状態の変化が予測できないため、大分考えさせられました。1期だとしても長すぎる

と思っている人も多いのではないのでしょうか。

3期やると信頼が得られ地域が見えてくる

小林 2期はやるという約束事があるとありがたいですね。必ず何人かは残るように推薦していただきたい。

編集長 地区の決まりで1期やったら隣の地区の人へ交代してしまいます。会長の力で自治会と話し合っただけで徐々になくなっていたらいいのです。

小林 私の市でも主任児童委員は全員交代してしまいました。本人も望んでいましたが次の地区が決まっていますからできなかったのです。

編集長 自分自身の研鑽にもなります。

西澤 私が、楽しいなと思ったのはゴミ屋敷の問題です。市や包括支援につなげました。片付けの時、区長の姿があると住民が仕事として住民が受け止めます。でも民生児童委員は地域ではボランティアだというイメージがありますから、時間があれば自由に支援をさせていただいています。判断は自由で、誰からも拘束されないことで、楽しい活動です。

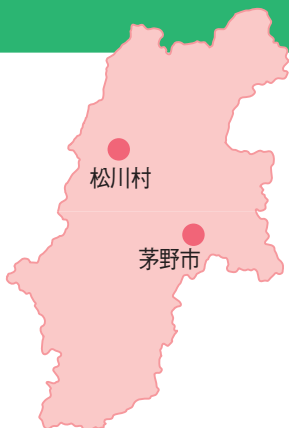
高宮 地域で介護予防活動が進んでいますが、予防の知識を持っている人が少ないのです。そう考えると、民生児童委員も1期ごとだと経験者が多くなってくるのではないかと思います。

平林 3期やったら楽しいですよ、小林さん(笑)。

小林 はい。地域の人に頼られるというところまでくると、1期では難しい。1期は地域に溶け込むようになり、2期からは地域から頼りになり信用も出てきます。

編集長 各地域でのご努力で、ぜひ皆さんには3期続けて欲しいですね。今日はありがとうございました。

訪問



記者が地区民児協におじゃまし、会長や委員とコミュニケーションを図って、第三者の目でレポートしていく「訪問」コーナーです。

民児協
だより



松川村民生児童委員協議会



▲「森の中の保育園」を熱演するMMK24の皆さん。

委員の潜在力活用で「MMK24」デビュー。
民児協を広く発信へ。

「保育園児に『MMK24』を知っているか聞くと『知ってる!』と答えるんですよ。AKBと間違えているんですね」と愉快そうに笑うのは、松川村民生児童委員協議会の奥原巨蔭会長。MMK24は、松川村のM、民生児童委員のM、協議会のK、委員数の24を組み合わせて名付けた劇団で、委員全員が劇団員です。

発足のきっかけは、昨年6月の研修旅行の宴会でした。フラダンスが得意な人、脚本を書く人、歌が上手な人など、何かしら得意技のある人が多く、眠らせておくの

はもったいないと感じたと奥原会長は言います。一方で、行政主導的な事業が多い民生児童委員の活動にもっと独自性を加えたいという気持ちや、民生児童委員の存在や福祉の大切さを子ども達を含め広く知らせたいという気持ちもありました。

そこで思いついたのが、得意な技を集めた劇団の結成。「ほろ酔いが残っている帰りのバスの中でさっそく提案しました」と奥原会長。企画委員6名と事務局1名が話し合いを重ね「森の中の保育園」という劇を完成させたのは、発案から約1年後の今年7月です。森の中で動物たちが遊ぶ場面のハイライトは、クマがブランコに乗るシーン。大きな丸太や大がかりな装置も、演劇活動をしているメンバーがいたからこそ使うことができたものです。衣装作りは女性委員が、舞台装置は男性委員が担当するなどチームワークも抜群です。

初舞台は村の北保育園。続いて南保育園でも。園児たちと声をあわせて歌う場面もあり大好評で、皆が、大役を成し遂げた充足感にひたりました。「最初は気が進まなかった委員さんも、やり終えると満足そうな表情でした」。10月には社協の「ゆっあい祭り」へも



▲このコーナーには登場経験のある奥原会長(前列右から3人目)と委員の皆さん。

MMK24として参加しています。奥原会長は、MMK24発足の経緯や活動内容をまとめたパワーポイント資料作成も自ら手がけ、観客やメンバーとの交流を図り要望を取り入れた柔軟な活動をしながら、広報にも努めていきたいと意気込んでいます。

松川村は人口約1万人。安曇野の北に位置する平坦な農業地帯です。民生児童委員は女性15名、男性9名からなり、それぞれが個性豊かな特技をもっているのが特徴とのことです。福祉課職員、社協職員の協力も得ながら、発展が楽しみなMMK24。劇をつくり上げることで委員の結束の強まるメリットもあると奥原さんは話していました。

茅野市ちの地区民生児童委員協議会

毎月の定例会を美のある研修の場にする
ことで、適切で迅速なつなぐ



▲定例会で須坂エクササイズを体験する委員たち

茅野市のうち、市街地を中心に約4500世帯を担当する、ちの地区民生委員児童委員協議会。2015年度の第84回「全国民生委員児童委員連合会会長表彰」を受けます。毎月の定例会の内容を独自に企画し、本格的な研修の場として充実させ、一人ひとりの委員が知識や連携の力を向上させながら、迅速で適切なつなぐの基盤づくりをしていることが評価されたものです。

定例会を研修の場にしよと決めたのは、戸田允文会長です。平成25年度、委員2期目で会長にな

ると、さっそく「研修テーマと講師の年間計画を作りました」。12月と1月で、民児協についての基本を学び、2月は地区の小学校教頭を招いての「児童の動向について」。続けて「障がい特性と制度について」「災害マップと要援護者見守りについて」など、いずれもその分野の専門家を招き、しっかり時間をかけているのが特長です。今年度は「発達障がい者支援について」「高齢者の虐待について」から始まり、委員から特に好評だったのは10月の「認知症予防の1つ・須坂エクササイズ体験」とのこと。須坂市での実践をたまたまテレビで見た戸田会長が、この活動に携わる人たちを講師として須坂市から招き、いつもより広い会場を借りて体操を体験しました。「まず、委員が健康でないと」と戸田さん。

取材につかかった11月は「生活困窮者自立支援法について」で、雇用環境の変化、高齢者や母子家庭の増加などの要因が生活困窮者を生み、生活保護者数が、それまで最も多かった終戦直後を超えたこと、しかし茅野市の場合には全国平均より下回っていることなどの概要から現状までを3人の行政職員から聞きました。



▲11月は米沢地区の委員8人も一緒に合同研修会としたので大人数に。前列中央が戸田会長。

毎月講師を呼ぶには、アイデアと人脈が必要です。戸田会長は元コンサルタント。研修企画は慣れたもので、委員になった時から定例会に導入するアイデアを温めていたといいます。特に、障がい者の教育や福祉への造詣が深く、県が障がい者との共生を目指して進める「信州あいサポート運動」に参加し、「地方精神保健福祉審議会」の委員も務めています。「知識が豊富にあると、つなぐ時に慌てないで素早い判断ができる」と、研修の意義を語ります。当初、毎月の研修にとまごい気味の委員もいたそうですが、今は出席率ほぼ100%。残り1年の任期中の研修予定もほぼ決まり、将来への引き継ぎ態勢も整備中です。



表紙写真紹介 冬の浅間山

撮影

上田市豊殿地区民生委員児童委員協議会
地区会長 矢沢地区担当 樋村 守彦さん

少し前の写真になりますが噴煙たなびく雪の冠雪した浅間山の雄姿を撮りたく何度も通い撮った中の一枚です。時間帯により浅間山の表情が違います。軽井沢と周辺に行ったとき、その都度撮影していますが私の中で画になるのは少なくてがっかりしていましたが、後で撮影画を見ると「おおー」と思う画に出会うときがあり、やはり撮っておいて良かったと思う中の一枚です。

profile

民生児童委員1年目です。写真が好きで、風景、花、昆虫、露、霜模様等を被写体に撮って自己満足にふけています。仲間と、撮影旅行に出かけたり親交を図っています。ただ、民生児童委員になり、写真を撮る機会が減ってしまい寂しい思いです。



長野県民生委員児童委員協議会連合会会長表彰

平成27年9月9日（水） 長野県社会福祉大会において表彰

○永年勤続功勞表彰

・安藤 泉（岡谷市） ・近藤 和子（飯田市） ・菅田 節義（松本市）

○優良単位民生児童委員協議会表彰

・千曲市稲荷山地区民生児童委員協議会 ・佐久市中込地区民生児童委員協議会
・安曇野市堀金地区民生児童委員協議会 ・伊那市民生児童委員協議会竜東地区

長野県社会福祉協議会会長表彰

平成27年9月9日（水） 長野県社会福祉大会において表彰

○民生・児童委員功勞表彰

・沓掛 昭子（青木村） ・辰野 恭子（宮田村）

全国民生委員児童委員連合会会長表彰

平成27年10月15日（木） 全国民生委員児童委員大会において表彰

○優良民生委員児童委員協議会表彰

・茅野市ちの地区民生児童委員協議会 ・青木村民生児童委員協議会
・野沢温泉村民生児童委員協議会

全国社会福祉協議会会長表彰

平成27年11月20日（金） 全国社会福祉大会において表彰

○民生児童委員功勞表彰

・宮木 昭彦（上松町） ・松原 仁美（売木村） ・井原 きみ枝（長野市）
・西澤 定雄（長野市） ・千野 千鶴子（松本市） ・西村 正治（松本市）
・高橋 昌子（松本市）

新年を迎え、今年の目標や意気込みを新たにしていることと思います。民生児童委員の任期も3年目の最後の年となりました。

民生児童委員として多くのことを学び体験し、そして地域のなかに溶け込んでたくさんの人と出会ったはず。

今月号はこの期間を経験した、1期目の方と2期以上を経験している方のそれぞれの思いを語っていただく座談会を特集しました。

活動の内容やあり方そしてそれぞれの立場での考えを参考にしていただいて次の任期へつながることを期待したいものです。座談会に参加していただいた皆さんは大変ありがとうございました。

高齢者をねらった特殊詐欺があとをたたず、毎日のように報道されています。そして被害件数が増加しています。私たち民生児童委員が出来ることは高齢者に対しての注意喚起しかありませんが、わが身にいつ起きないとも限りません。私たち自身も高齢者に該当する方が多数いるかと思われませんが、日ごろから対応をしておくことが大切ではないでしょうか。

（依田 宗夫）



編集委員 / 熊井 文弘・草深 邦子・古川 友枝・依田 宗夫